

東証プライム・名証プレミア

証券コード：6134

# 2023年3月期 第1四半期 株式会社 FUJI 決算説明会資料

2022年8月



# 目次

---

- ◆ 1. 第1四半期決算の概要
- ◆ 2. 2023年3月期 業績予想
- ◆ 3. トピックス



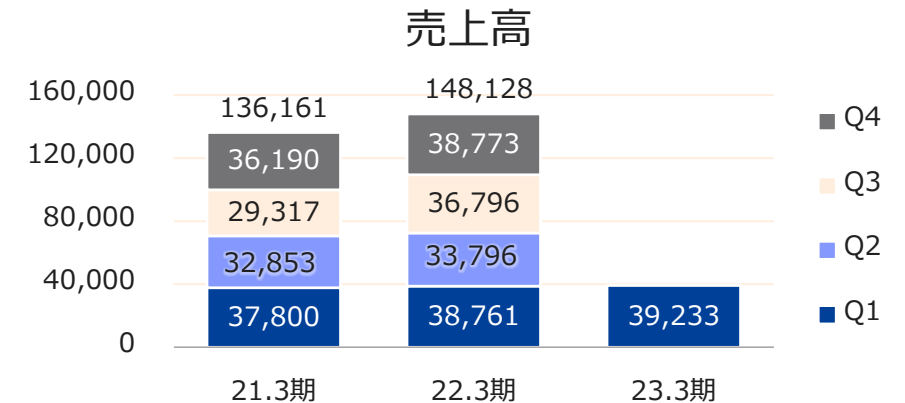
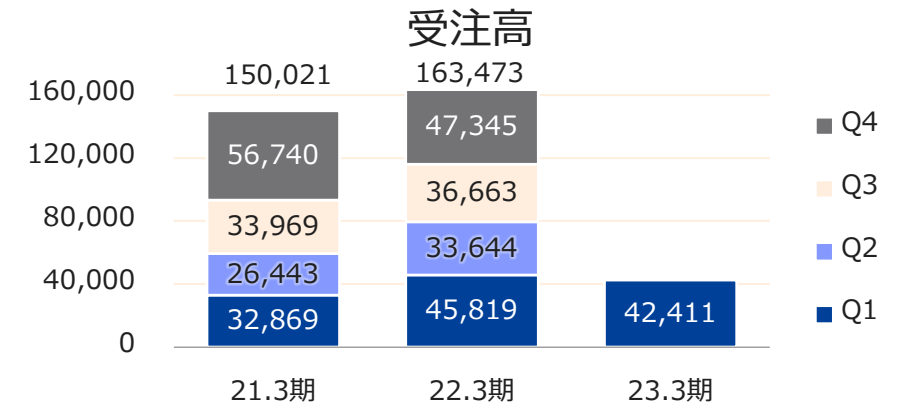
# 1. 第1四半期決算の概要

# 2023年3月期 第1四半期 業績

- 需要は継続しているが、部材調達難により売上高は微増
- 材料費高騰の影響もあり減益

(百万円)

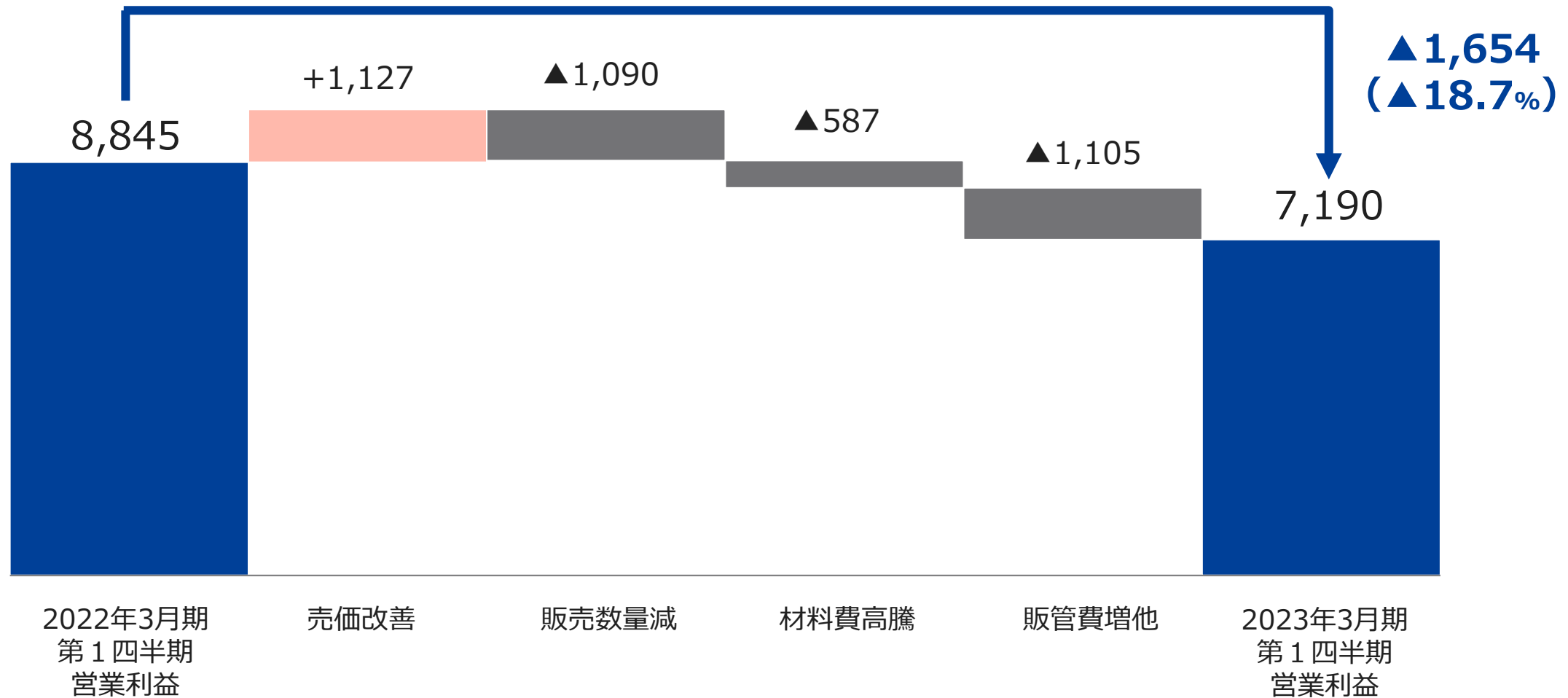
	22.3期 Q1 実績	23.3期 Q1 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	45,819	42,411	▲3,408	▲7.4%
売上高	38,761	39,233	+471	+1.2%
営業利益	8,845	7,190	▲1,654	▲18.7%
経常利益	9,232	8,538	▲694	▲7.5%
当期純利益	6,467	5,935	▲532	▲8.2%



# 営業利益増減分析

■ 売価改善にも関わらず、出荷数量の減少並びに材料費の高騰により1,654百万円の減益

(百万円)



# ロボットソリューション事業

自動車や家電製品、通信端末など身近な電子製品。これらの製造に必要不可欠となるのが、プリント基板に電子部品を装着する電子部品実装ロボットです。

FASFORD  
TECHNOLOGY



DBシリーズ

AIMEX III



sFAB-SH



NXTR



NXT  
Fiji Scalable Placement Platform



Copyright © 2022 by FUJI CORPORATION. All rights reserved.





# ロボットソリューション事業

多様化するライフスタイルや少子高齢化をはじめとしたさまざまな社会問題にも着目し、多彩なソリューションを提供しております。

介護



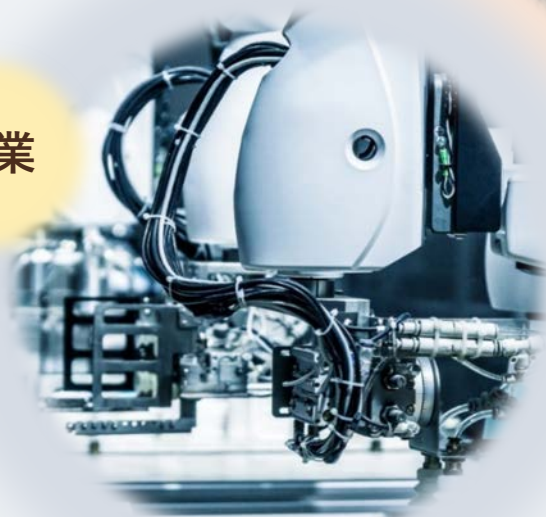
移乗サポートロボット

HuQ

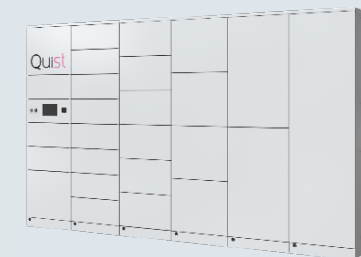


小型多関節ロボット  
Smart Wing

産業



物流



パブリックロッカーシステム

Quist



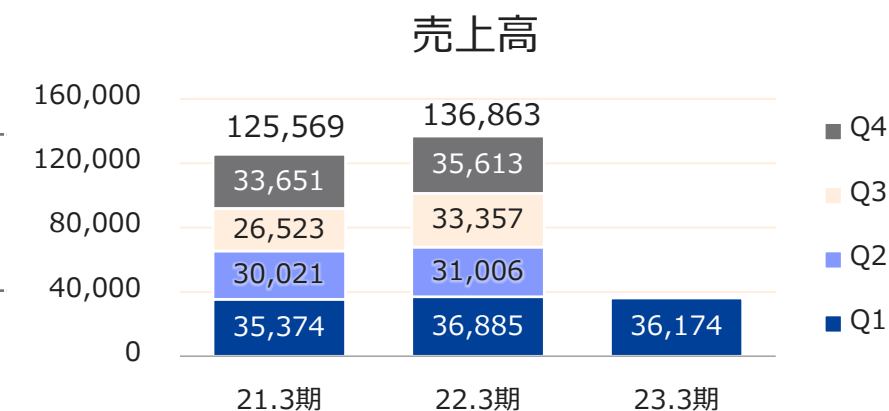
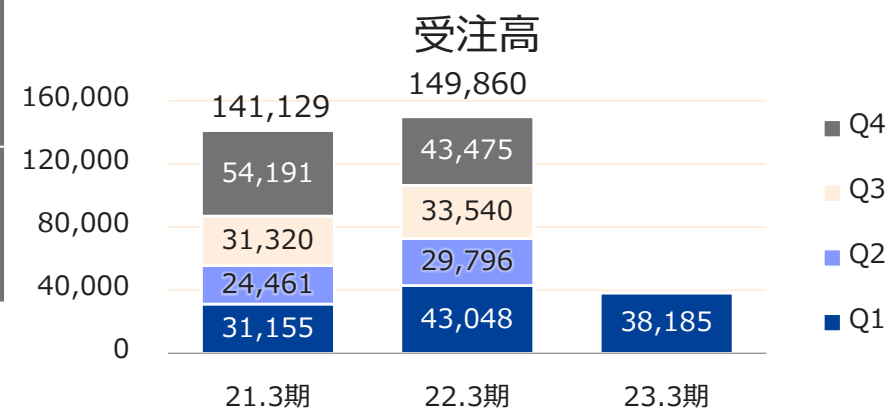
大気圧プラズマユニット  
Tough Plasma

# ロボットソリューション事業 業績

■ 電子部品実装ロボット市場は車載関連を中心に堅調に推移するも、部材調達難の影響を受け  
対前年同期比減収減益

(百万円)

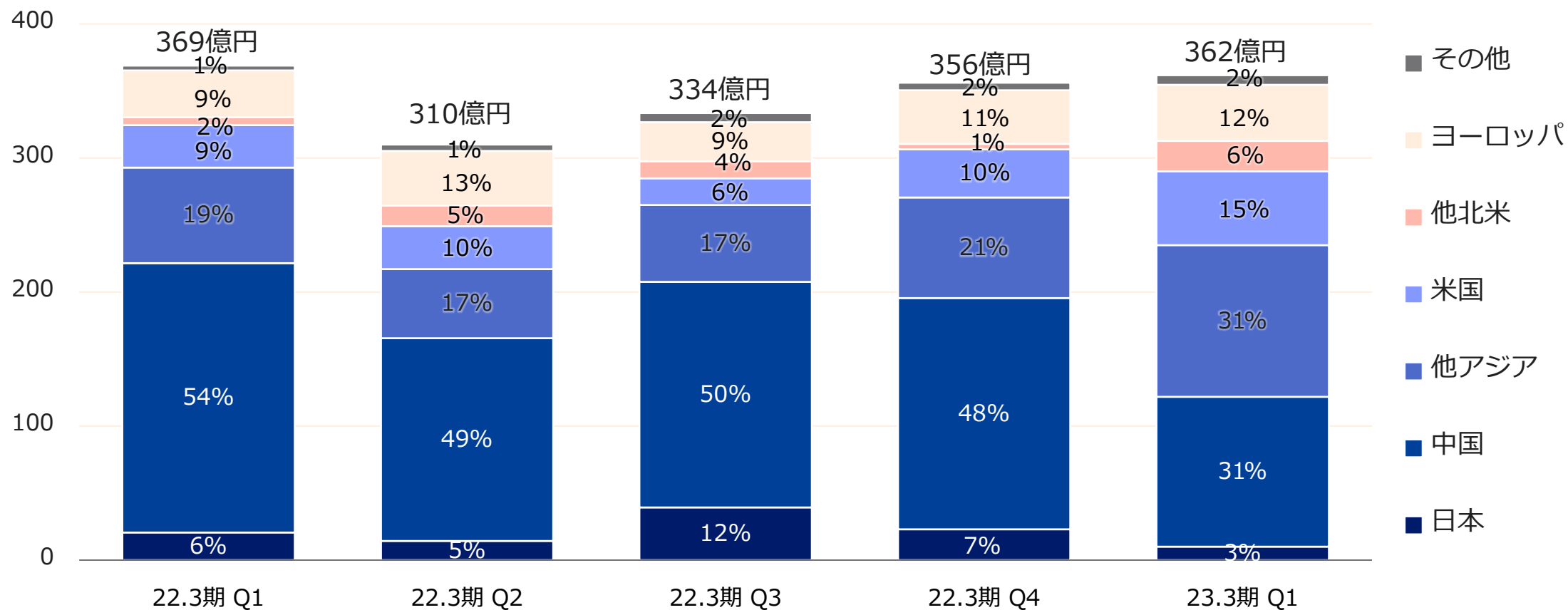
	22.3期 Q1 実績	23.3期 Q1 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	43,048	38,185	▲4,863	▲11.3%
売上高	36,885	36,174	▲710	▲1.9%
営業利益	9,654	8,181	▲1,472	▲15.3%
受注残高	48,227	59,308	+11,081	+23.0%





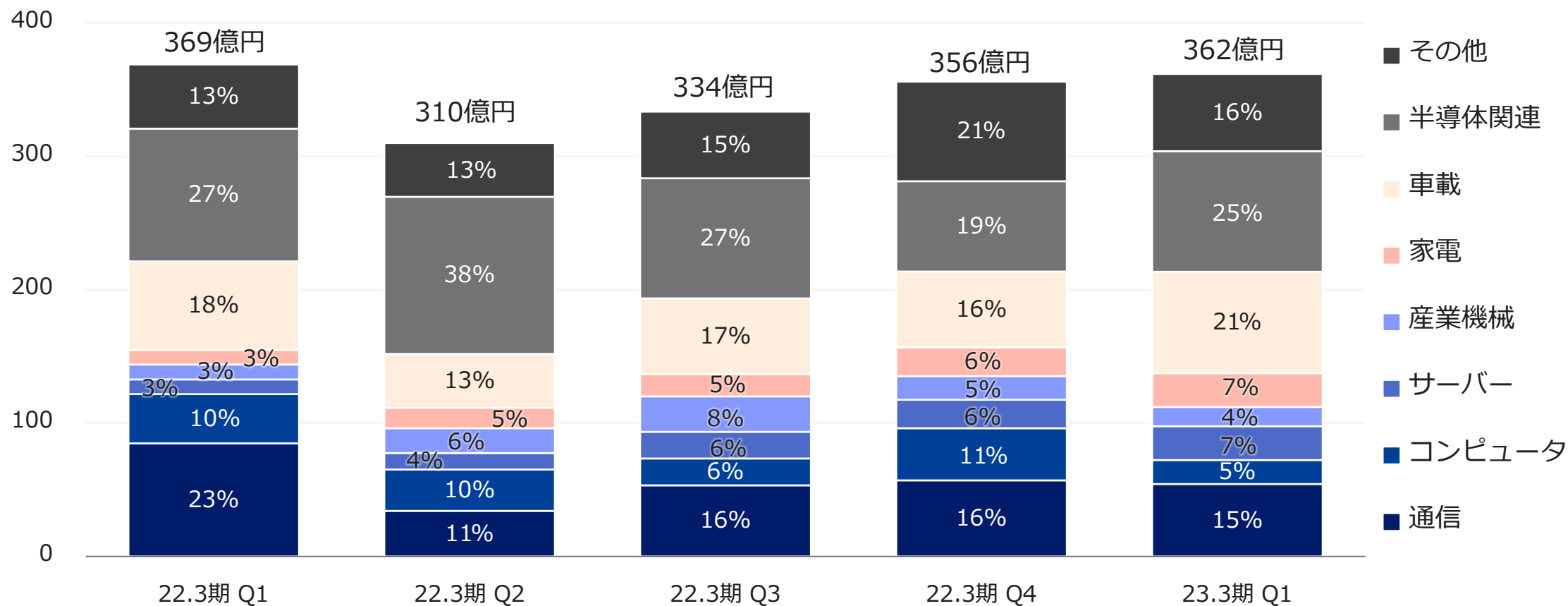
# ロボットソリューション事業 地域別売上高

- 他アジア：台湾・タイ・フィリピン向けが大きく伸長
- 中国：ロックダウンの影響を受け、一時的に落ち込み

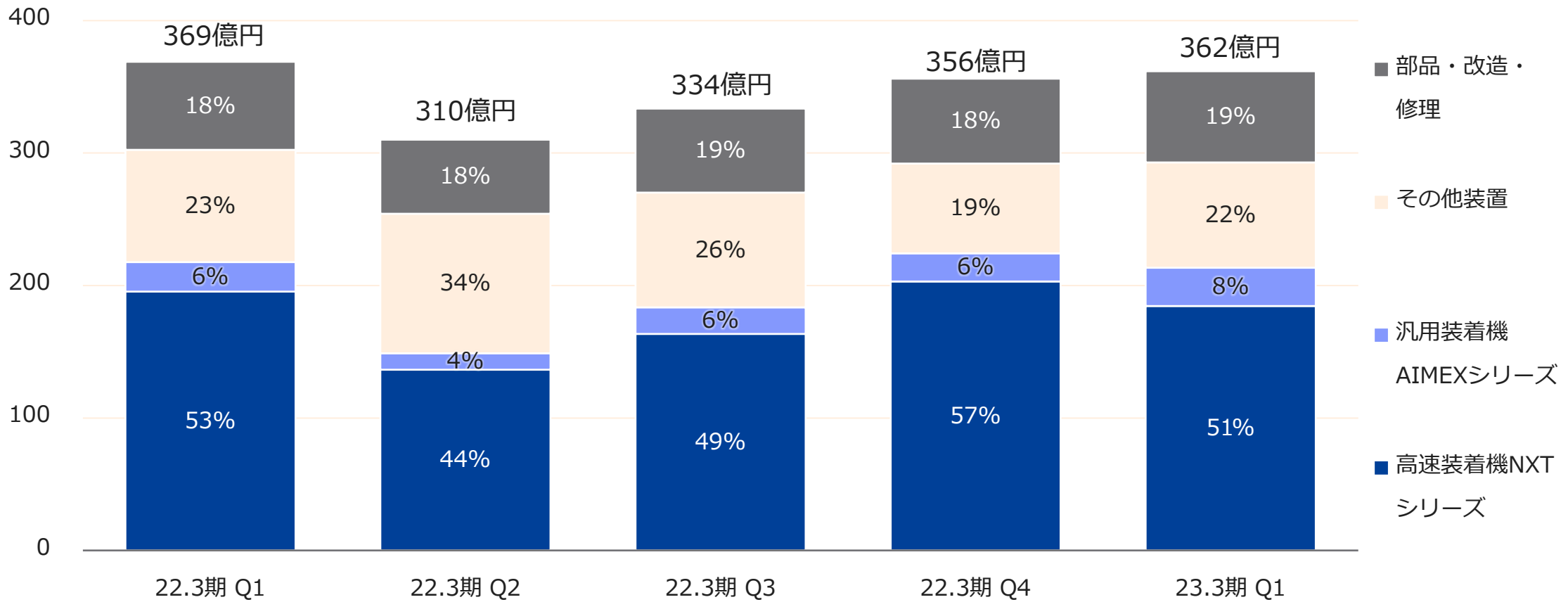


# ロボットソリューション事業 業種別売上高

- 車載：22.3期に引き続き、欧米向けのEV関連設備投資が好調
- コンピュータ：巣ごもり需要の一巡に伴い、PC向け設備投資需要にも一服感



# ロボットソリューション事業 機種別売上高



# マシンツール事業

自動車や産業用機械を構成する高精度な加工部品。これらを作り出すため金属素材を切削・加工する役割を担うのが「マザーマシン」とも呼ばれる工作機械です。



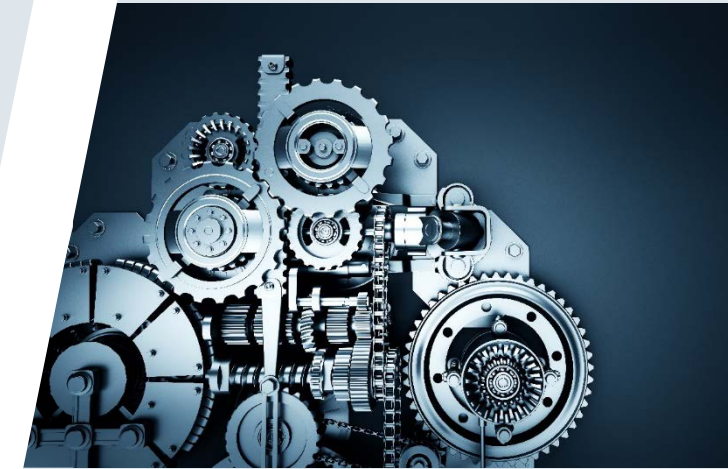
複合加工機

GYROFLEX



正面2スピンドル旋盤

CS SERIES

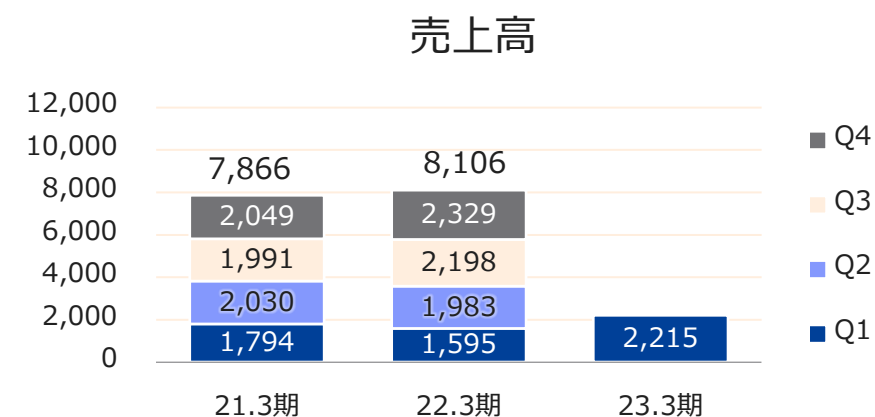
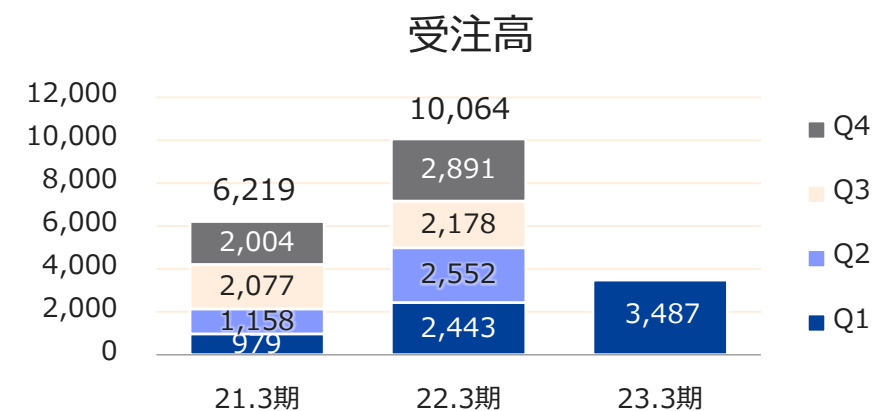


# マシンツール事業 業績

■ 北米・アジアを中心に自動車関連の設備投資が回復傾向

(百万円)

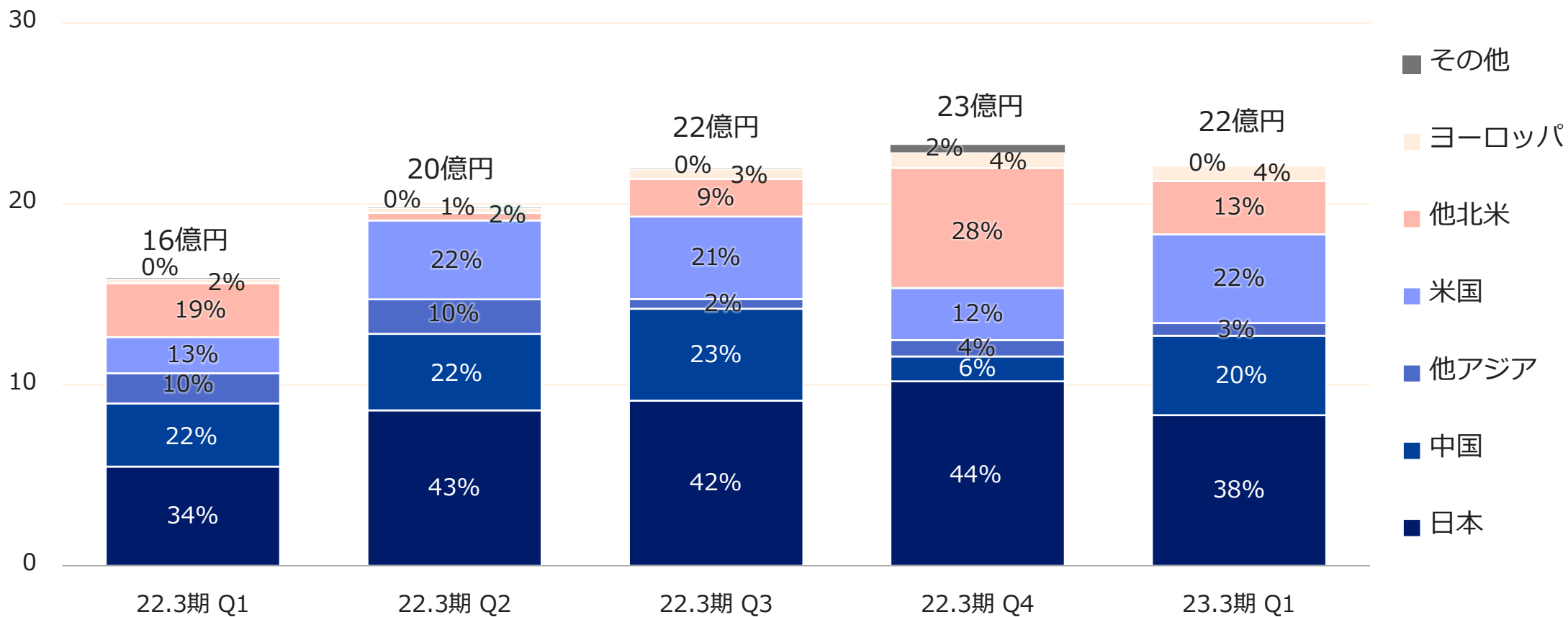
	22.3期 Q1 実績	23.3期 Q1 実績	対前年同期	
			増減額	増減率
受注高	2,443	3,487	+1,044	+42.8%
売上高	1,595	2,215	+620	+38.9%
営業利益	0	▲112	▲113	-
受注残高	4,534	6,917	+2,383	+52.6%



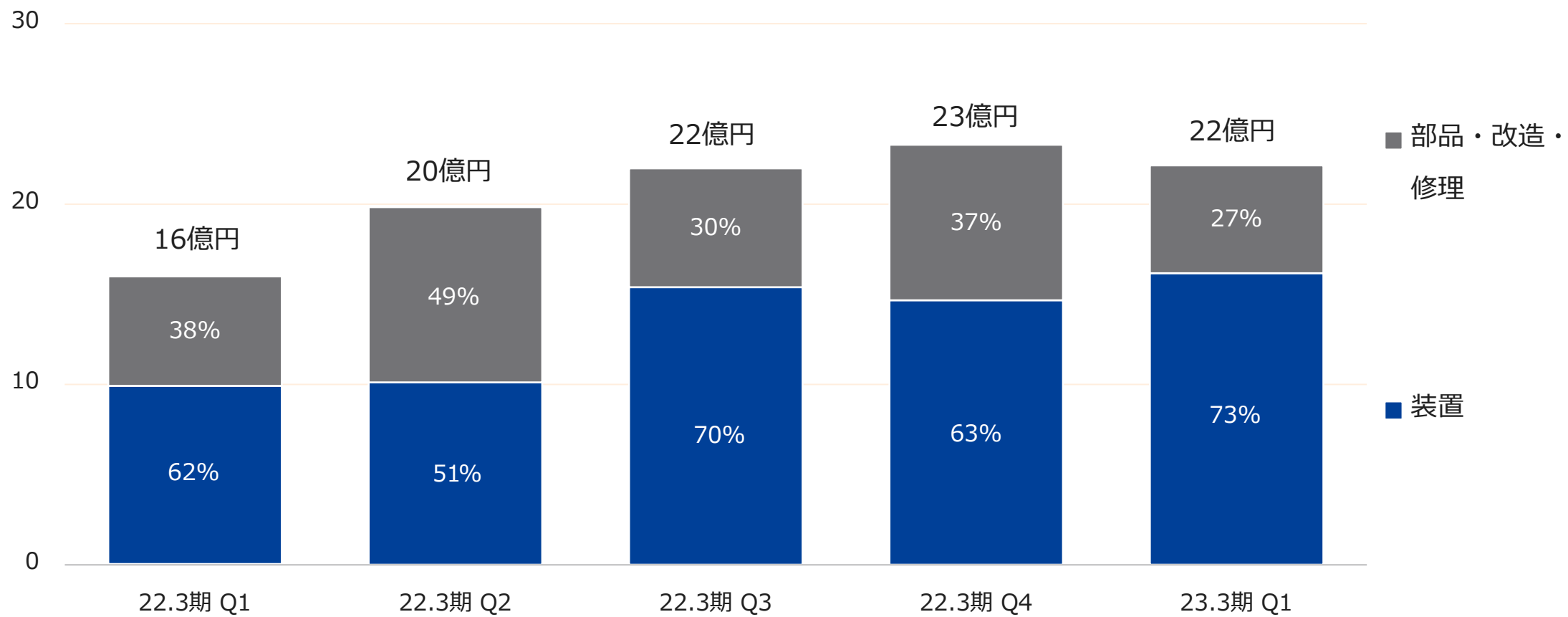


# マシンツール事業 地域別売上高

- 米国：自動車関連の設備投資が回復基調
- 日本：慎重姿勢が継続



# マシンツール事業 機種別売上高





◆ 2. 2023年3月期 業績予想



# 業績予想

- 米国を中心に通信インフラ、サーバー、EV等で電子部品実装ロボットの旺盛な設備投資需要が見込まれるため上方修正

(百万円)

	22.3期 通期実績	23.3期通期予想				
		2022年5月13日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
				増減額	増減率	増減額
受注高	163,473	153,000	161,000	▲2,473	▲1.5%	+8,000
売上高	148,128	157,000	165,000	+16,871	+11.4%	+8,000
営業利益	28,472	28,500	29,200	+727	+2.6%	+700
営業利益率	19.2%	18.2%	17.7%	-	-	-
経常利益	29,943	28,700	30,600	+656	+2.2%	+1,900
当期純利益	21,188	20,600	21,800	+611	+2.9%	+1,200

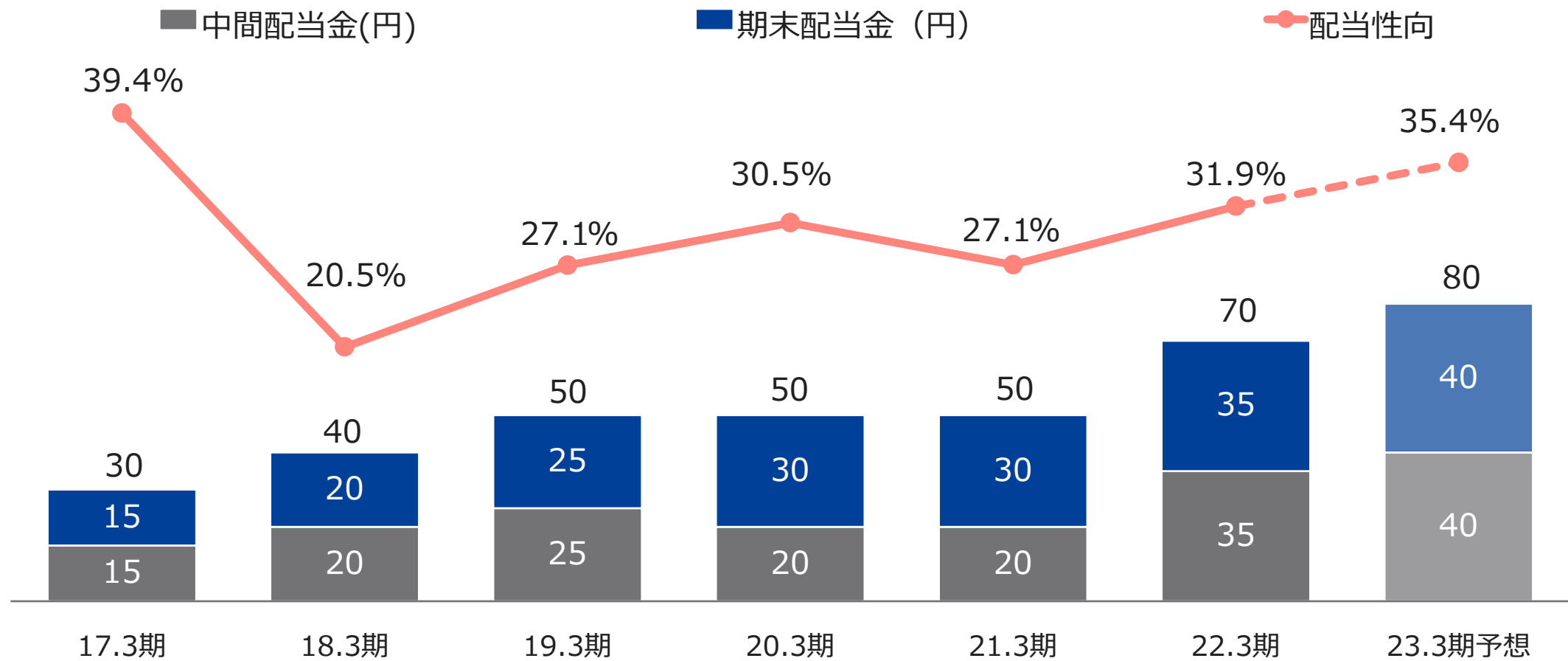
# セグメント受注・売上予想

(百万円)

		22.3期 通期実績	23.3期通期予想				
			2022年5月13日 公表予想	今回予想	対前期実績		対従来予想
					増減額	増減率	増減額
ロボット ソリューション 事業	受注高	149,860	135,000	143,000	▲6,860	▲4.6%	+8,000
	売上高	136,863	140,000	148,000	+11,136	+8.1%	+8,000
	受注残	57,298	52,298	52,298	▲5,000	▲8.7%	±0
マシンツール 事業	受注高	10,064	14,500	14,500	+4,435	+44.1%	±0
	売上高	8,106	13,500	13,500	+5,393	+66.5%	±0
	受注残	5,644	6,644	6,644	+1,000	+17.7%	±0
その他 事業	受注高	3,547	3,500	3,500	▲47	▲1.4%	±0
	売上高	3,159	3,500	3,500	+340	+10.8%	±0
	受注残	649	649	649	±0	-	±0
合計	受注高	163,473	153,000	161,000	▲2,473	▲1.5%	+8,000
	売上高	148,128	157,000	165,000	+16,871	+11.4%	+8,000
	受注残	63,592	59,592	59,592	▲4,000	▲6.3%	±0



# 1株当たり年間配当金・配当性向



普通配当 40.00  
記念配当 10.00



◆ 3. トピックス

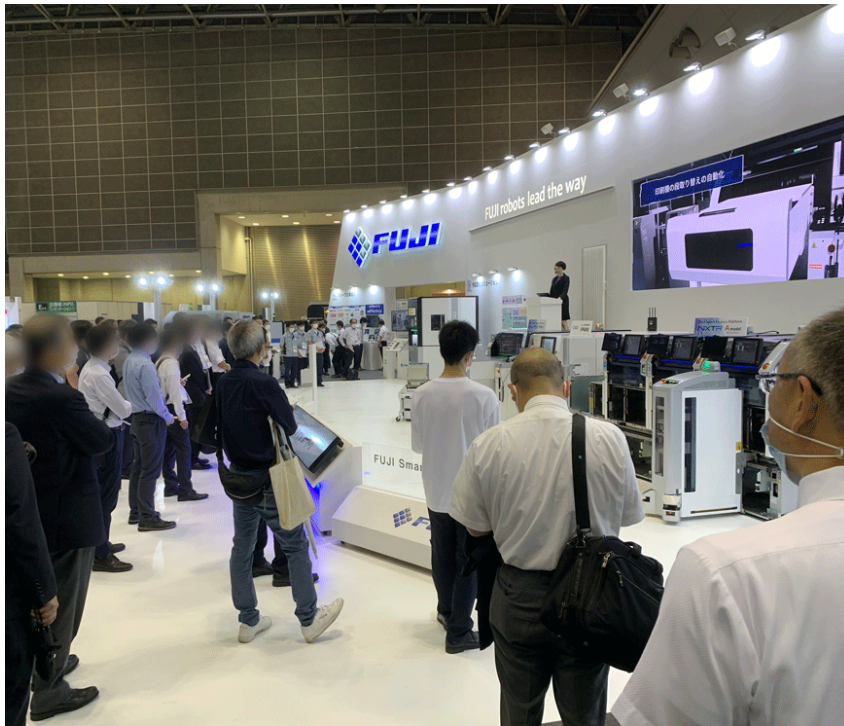


# 2年ぶりに大規模展示会へ出展

## ■第23回 実装プロセステクノロジー展へ出展

(会期：6月15～17日 会場：東京ビッグサイト 来場者数：27,972名)

- ・「FUJI Smart Factory」を中心に、先端実装技術・手挿入工程の自動化の紹介
- ・展示会特設ウェブサイトを同時開設：バーチャルブース・出展機の紹介、会期中のダイジェスト映像公開



FUJIブース



展示会特設ウェブサイト

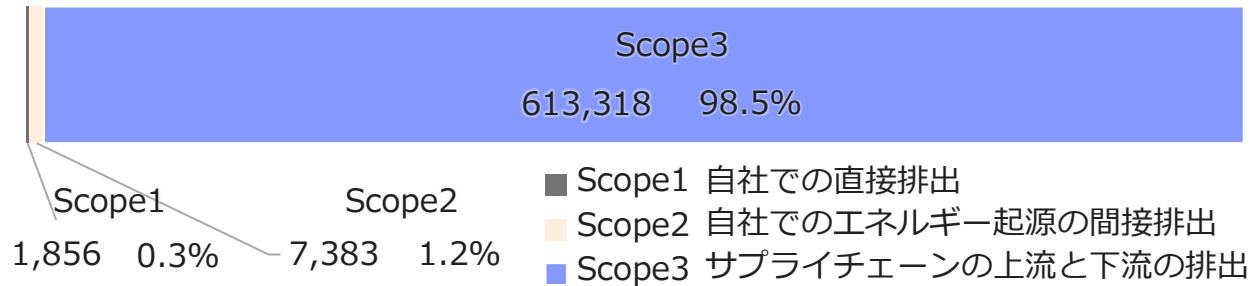
<https://www.fuji.co.jp/about/rs/protoc2022>

# 環境への対応

■ 当社は気候変動対応への指標をCO<sub>2</sub>排出量と定めており、2022年6月にはTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への賛同を表明いたしました。各拠点において脱炭素に向けた活動を進めるとともに、当社が販売する製品の省エネ化も進め、サプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでまいります。

## ■ 2021年度の実績

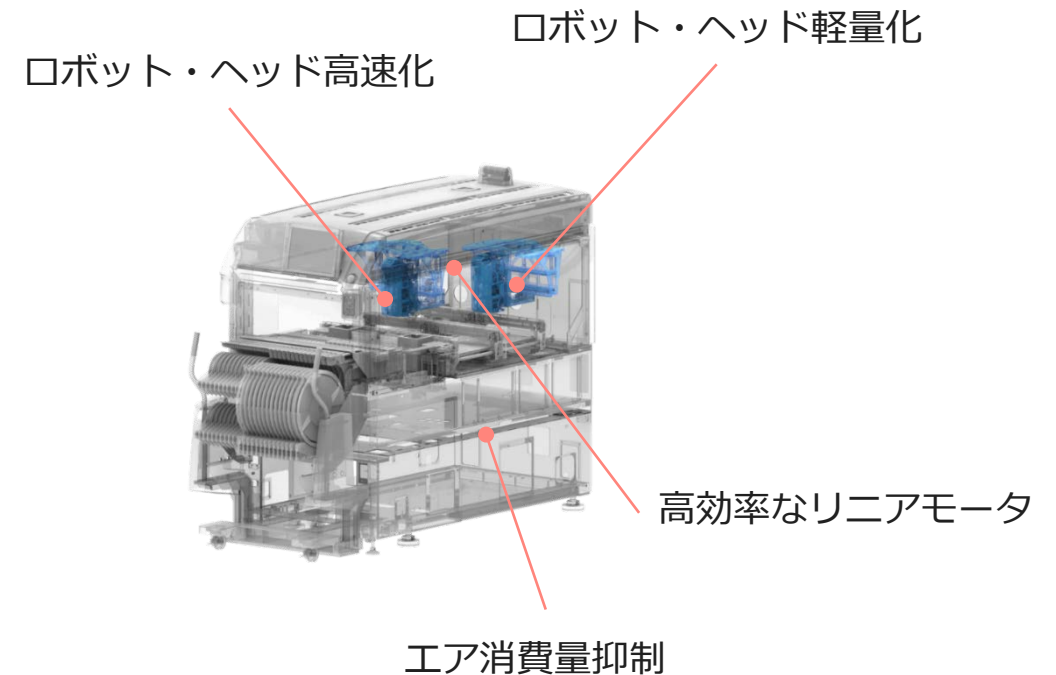
Scope別CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)



Scope3 カテゴリ別CO<sub>2</sub>排出量 (t-CO<sub>2</sub>)

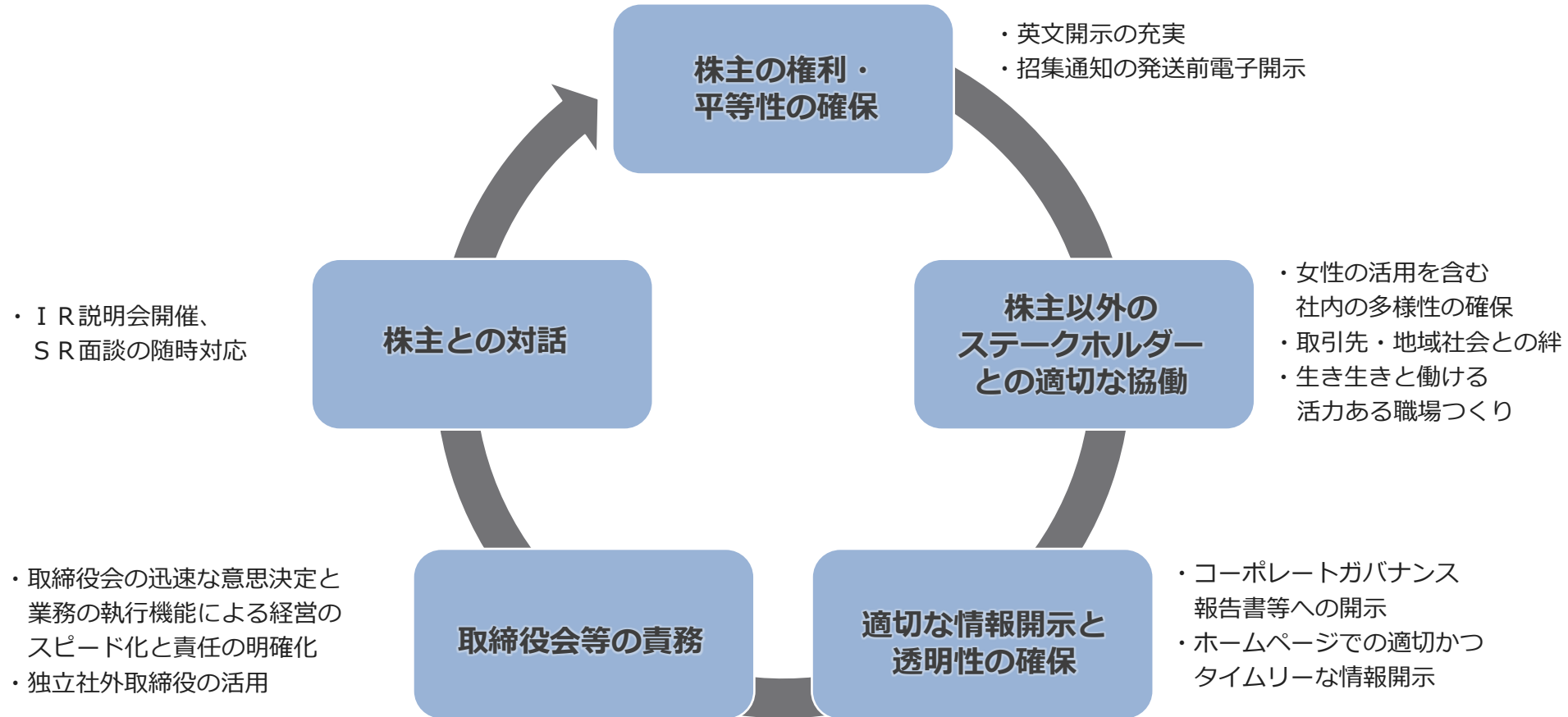


## ■ 電子部品実装ロボットの省エネ対策

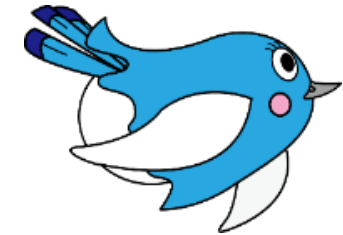


# コーポレートガバナンス・コード

- 当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、企業価値の向上を目指してまいります。







### 【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる場合があります。

